

商社 物流

陽極材挿入工法を普及

短工期 多様な構造物に対応

東京興業貿易商会

鉄筋コンクリ電気防食システム

電源不使用型も品揃え

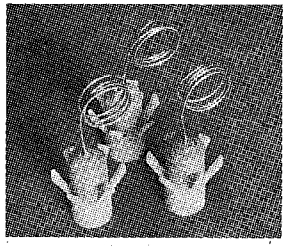
JFEコン
テイナ

中国ドラム缶事業拡大

浙江省で
新ライン 年産720万本体制に

東京興業貿易商会(東京都港区)は、鉄筋コンクリート構造物の電気防食システムの事業展開を加速する。通電によって鉄筋腐食の原因となる鉄のイオン化を電気化学的に抑制するもので、コンクリート構造物を安定的に維持する。テンマーク社の国内総代理店として、構造物に挿入して使用する点状タイプ陽極材を拡販する。工期が短く、扱いやすいためさまざまな構造物に提案できる。鉄筋の腐食抑制システムとして電源装置を必要としない犠牲陽極材も取り扱っており、通電タイプと比べコストを抑えることが可能。工場や鉄筋コンクリート基礎などに提案する。

高度経済成長期に造られた鉄筋コンクリート構造物の鉄筋の腐食や、コ



電源不使用の亜鉛製犠牲陽極材はコストを抑えることが可能

ンクリートの崩落などが社会問題となっている。海砂を使ったコンクリートや海沿いの構造物は、塩化物イオンによる塩害で錆が発生しやすい。また、コンクリートが大気

中の二酸化炭素と結合し中性化することで、セメントの強アルカリ性によって内部鉄筋表面に形成されていた不動態被膜が失われ鉄筋が腐食しやすい環境となる。

多くの補修方法は脆くなったコンクリートと腐食した鉄筋の錆を取り除き、新しいセメントで覆う工法が採られている。しかし、補修した鉄筋部分と、その境界にある未補修の鉄筋部分で電位差が生じやすくなるため、再び鉄筋が腐食していき、腐食箇所が次々と移

ることになり補修を繰り返すことになる。

東京興業貿易商会が提案する電気防食システムは、構造物内部に挿入した陽極材を通電し、電気泳動によって陽極材周辺に塩化物イオンを引き寄せ、セメントを本来の強アルカリ性に保つ。鉄筋の周辺環境も改善されるため、コンクリート構造物を安定的に維持できる。

テンマーク・CPIの日本国内総代理店として点状タイプ陽極材を用いた防食防錆工法の提案を強化していく。陽極材を挿入する点状タイプは、コンクリート構造物のかぶり厚さの影響を受けにくいいため、扱いやすく工期も短い。モニタリングも可能で、鉄筋の状況を把握できる。

《中国通関セミナー》

『中国通関の現状と化学企業の対応』

冷え切った日中関係のなか両国間ビジネスに一時の勢いはありませんが、それでも日本企業にとって中国は最も重要な貿易相手国であることには変わりはありません。今回のセミナーでは中国通関事情に精通された方々を講師に迎え、その現状と対応について解説します。この機会に是非関係者多数のご参加をお待ちしております。

5月20日東京、23日大阪で

講演要旨
第1講『中国通関の現状と運用上留意すべきこと』
日通総合研究所
ロジスティクスコンサルティング部

込める。すでに国道橋や港湾施設をはじめ、各種鉄筋コンクリート構造物で採用実績がある。また、電源装置を使わない点状タイプの亜鉛製犠牲陽極材も取り扱う。鉄と亜鉛のイオン化傾向の違いによって、鉄よりも先に亜鉛が錆びること

定めて鉄の腐食を抑制する。コストを抑えることが可能で、海沿いにある石油や鉄鋼のプラントなどのほか、鉄筋コンクリート住宅の多い沖縄では民家の採用実績も多数。低コストの防食システムとして提案を強化していく。

同時の化成処理ライン、外面塗装時に異物混入を防止するペーパーシールシステムなど新鋭のFA設備を徹底導入した。

これにより、平湖の新工場は、品質や生産効率等が世界最高クラスのドラム缶製造ラインとなり、華東地区および周辺における石油や化学品、化成品等のドラム缶需要家に

向け、さらに高品質で最高水準のドラム缶供給を図っていく方針だ。また、増設により平湖拠点で年産420万本、すでに保有している上海、揚州と合わせ中国300万本に引き上げる予

恭記(株) 浙江イラ浙